

松下政経塾45期生 共同研究フォーラム

アンケート報告書

公益財団法人松下幸之助記念志財団

松下政経塾

45期生

小薄 潤弥
片山 大鷹
斉藤 竜貴
野田 怜弥
山下 かおり
山中 貞正



松下政経塾

目次

はじめに

参加者情報

1. 参加者の年齢
2. お住まいの地域

フォーラムについて

3. 本フォーラムを知ったきっかけ（複数選択可）
4. 参加の主な目的（複数選択可）
5. 「第一部 政策発表」の満足度
6. 「第二部 パネルディスカッション」の満足度
7. スタッフの対応の満足度
8. 今回のフォーラムを友人に勧めたいですか？
9. 本フォーラムに参加したことで、日本の里山や水田、コメに関する考え・心境の変化はございましたか？
10. その他、ご意見・ご要望・ご感想

はじめに

2025年4月20日、私たち45期生は共同研究の集大成として、松下政経塾の講堂にて「第45期生 共同研究フォーラム」を開催いたしました。参加申込者は280名ののぼり、当日は会場に96名、オンラインでは118名の方にご参加いただきました。

本報告書では、当フォーラムにて実施しました参加者アンケート（回答者数：116名）の内容を取りまとめております。今後の研修や企画運営等にご活用いただければ幸いです。

改めまして、私たちの共同研究にご協力くださいました皆様、そしてフォーラムにご参加いただきました皆様に、心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

松下政経塾 45期生一同

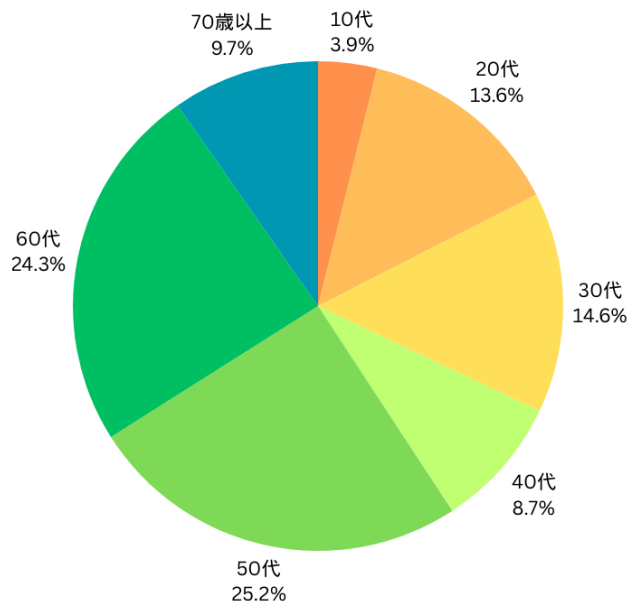
※アンケート原文をそのまま記載しており、判読できなかった文字については「●」で表記しています。



参加者情報

1. 参加者の年齢

幅広い年代の方々にご参加いただいたが、特に50～60代の参加が多く、約半数を占めた。



年齢	人数
10代	4名
20代	15名
30代	17名
40代	11名
50代	29名
60代	28名
70歳以上	12名

2. お住まいの地域

藤沢市および茅ヶ崎市からの参加者は、全員が会場参加であった。神奈川県内および東京都内からの参加者が特に多く見られたが、海外からも6名の方にご参加いただいた。（韓国、カンボジア、インドネシア、カナダ、アメリカよりご参加）。

都道府県	市町村	参加者数	うち会場参加
神奈川県	藤沢市	17名	17名
	茅ヶ崎市	8名	8名
	その他	19名	15名
東京都		20名	13名
北海道		2名	2名
青森県		3名	0名
秋田県		1名	0名
福島県		1名	1名
新潟県		1名	0名
栃木県		1名	0名
群馬県		1名	0名
茨城県		2名	1名

都道府県	参加者数	うち会場参加
千葉県	5名	4名
埼玉県	2名	1名
愛知県	1名	1名
大阪府	4名	0名
京都府	3名	1名
兵庫県	3名	0名
三重県	2名	0名
広島県	1名	0名
山口県	1名	1名
福岡県	2名	1名
熊本県	1名	0名
鹿児島県	1名	0名

フォーラムについて

3. 本フォーラムを知ったきっかけ（複数選択可）

認知のきっかけは「塾生からの紹介」が最も多く、全体の過半数を占めた。チラシは3,000部、ポスターは30部を印刷し、近隣の店舗に設置していただいたほか、駅や公共施設への掲示、住居へのポスティングなどを通じて広く案内を行った。

きっかけ	人数	割合
塾生からの紹介	58名	50.9%
SNS（Facebook／Instagram）	13名	11.4%
政経塾からのDM	8名	7.0%
ポスター・チラシ	8名	7.0%
政経塾HP	7名	6.1%
知人・友人からの紹介	7名	6.1%
タウンニュース	6名	5.3%
塾関係者（職員・塾員）からの紹介	3名	2.6%
回覧板	0名	0%
その他	4名	3.5%

（「塾生からの紹介」を選択した方へ）
差し支えなければ塾生の名前を教えてください。

右記の塾生以外にも、政経塾の職員や塾員の名前も何名か記載されていた。上記の「知人・友人からの紹介」で参加いただいた方も多くいることから、様々な方の口コミによって認知いただいた面も大きいと考えられる。

塾生名	記載数
小薄潤弥	13名
片山大鷹	0名
斉藤竜貴	5名
野田怜弥	11名
山下かおり	16名
山中貞正	0名
45期生全員	5名

フォーラムについて

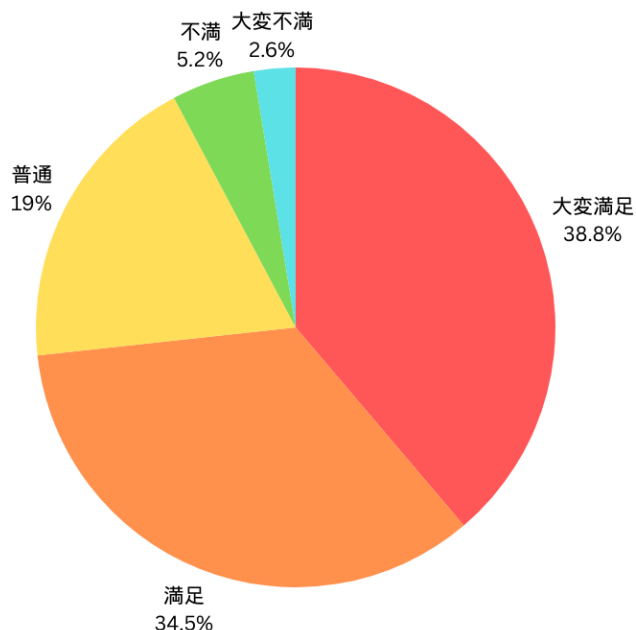
4. 参加の主な目的（複数選択可）

参加の主な目的としては、「テーマに関心があった」が最も多く、次いで「塾生の活動に関心があった」が多かった。アンケート内の別項目においても、「まさにタイムリーなテーマ選びが良かった」とのコメントが複数寄せられており、テーマの時宜性が高く評価されたと考えられる。また、塾生の活動や松下政経塾自体への関心が高い参加者が多かったことから、今後、他の塾内イベントに関する情報発信を行うことで、新たな来場者を見込める可能性が示唆された。

主な目的	人数	割合
テーマに関心があった	79名	68.1%
塾生の活動に関心があった	62名	53.4%
政経塾に関心があった	41名	35.3%
登壇者の話を聞きたかった	30名	25.9%
懇親会に参加したかった	9名	7.8%
その他	5名	4.5%

フォーラムについて

5. 「第一部 政策発表」の満足度



参加者からは、**提言の理念や方向性、プレゼンテーションの熱意に共感の声が多く寄せられた**。「自然共生国家」や「列島水田再生構想」への関心が高く、農業や里山を取り巻く課題に真剣に向き合う姿勢が評価された。

一方で、**内容の深掘り不足や現場感の希薄さ、提言の具体性や実現可能性に対する指摘も多く**、特に数値的根拠や市場規模、消費者視点の不足が課題として挙げられた。農業政策や自然共生に関する知識の広がりを求める声や、既存政策との違いや実装の難しさへの検証を望む意見もあった。

全体としては、塾生の取り組みに対して高い期待と応援の姿勢が示された一方で、政策の実効性や説得力の向上に向けたさらなる発展が期待されている。

その理由 ① ※一部抜粋

- ・ 内容が大変面白かった。コメ業界でない人が政策を考えるとこの形になると質疑応答の時間がもう少し欲しい
- ・ 日本の農業の未来を考えるきっかけになった
- ・ 9か月でよくまとめられただけでなく、具体性のたたき台としてとても良いものができたと思います。以前から農家の給与性のような生活を保障できる仕組みがあるとよいと考えていたので産業化などとても期待です
- ・ 現在のコメ価格問題を改めてよく考えられたから。食育を改めて考える機会となった。
- ・ 意欲的な提言でしたがやや一面的な感じがした。時間の関係があるかと思うが聴衆からの質問にもあった●などにも言及いただきたかった。また、表題の「自然共生」についてさらに詳しく聞きたかった
- ・ 質問の時間がもっとあればよかったと思います。
- ・ 需要拡大を軸に具体的な施策に落とし込んであり、非常に表現性が高いと思います
- ・ 「列島水田再生構想」理念に感銘を受けました。現場の声や45期生メンバー内でかなり議論された内容で良かったです
- ・ 塾生の生のプレゼンを聞けることができて、大変勉強になりました。話し方はとても分かりやすく、聞きやすかった。
- ・ タイムリー
- ・ ジャストタイミング
- ・ 提言内容については、これまでも議論されてきたが、なぜ実現できていないかを検証し、その改善策も提起してほしかった
- ・ 農家が赤字であることとその理由を掘り下げている。日本米が国内のみでなく、海外でも人気が出てきている。拡大していく事が重要。賛同
- ・ 中学生の頭でついていけないというものもありますが、パワーポイントの見にくさ、説明が分かりにくいというのが主な理由です。
- ・ ①もう少し現状分析・農家の抱えている問題点が弱いと思った。（戦略が弱い）②あるべき姿とのギャップを考えると、メリット・デメリットの分析が、もう一度テーマに戻った方が、実践あるのみ？
- ・ もう少し具体策が欲しい
- ・ テーマである「自然共生」「里山」「水田」からイメージしたり帰着店がやや物足りないような気がしました。6名の皆さんがテーマに対する関心にばらつきがあったのでは？それぞれの言いたいことや社会で課題になっているトピックを盛り込みすぎ、まとめが甘かったような印象です。
- ・ もう少し深掘りが必要だと感じた
- ・ テーマはとても面白いと思いました。限られた時間なので説明管はありましたので、資料を配布するなど工夫が必要かと思いました。
- ・ 一人一人の考えが違っており、とても面白く楽しかった
- ・ 水田消費をさらに広げていくことが未来米の価値につながることを理解しました。発表のスライドが見つらく言いいたいことが多すぎて大切だと思う部分が分かりづらかったです

フォーラムについて

5. 「第一部 政策発表」の満足度

その理由 ② ※一部抜粋

- もう少し、深掘りした内容を聴きたかった。
- 食育基本法で育った世代なのに理解していないのに驚いた。
- 人と自然の共生に共感します。そこから農業とくにお米の生産に注目されたのも関心を持ちました。
- 類似した政策がなぜ進まないのか、現実的に海外で日本産の日本人が満足するレベルの米にどれだけの需要があるのか、などなどを踏まえた上での机上の空論を聞く方が腑に落ちやすかったと思う。現場感がほぼなかった気がする。
- 提言もパネルも良かったが、もう少し突っ込みがあっても良かったかもしれない。
- お米について、輸出も地産地消も両方を推し進めようとしている点から、バランスのとれたご意見だと感じました。一方、流域治水の観点で考えたときに、水田は水の涵養地であるともいえます。そういう場所の田んぼは公的に管理するというご意見について、もう少し踏み込んでお話をうかがいたかったです。
- 着眼点は良かったと思います。
- 内容は共感出来、是非政策として進めていただきたいが、どの国との貿易を行うのか、数値の根拠は？など具体的な部分にフォーカスが当たっておらず、政策が実現されるかどうかの一抹の不安を感じたため
- タイムリーだった
- 議論を重ねて未来を考える姿勢が重要。失敗を恐れず頑張ってください。
- 未来の里山づくりは、まちづくりにとって必須だと思っています。
- 農協に依存しない農家の育成が大事だと思っていたので、農家が新しい販路を持てる政策提案は素晴らしいと思った。
- 水田の話なのか自然共生の話なのか課題が総花的であり、どの 이슈を解決したいのかわかりづらい。需要拡大と言っているが、どう供給を増やすかの話であった。また、輸出、特定PFやサブスクをしたらスケールすると言う事かと思いますが、今回の提言は基本的に生産者の視点かと思っています。しかし、スケールさせるには消費者を起点とした課題の解決も必要かと。あと、根本的に主張、提言に関して客観的なデータが無く信頼性が無かった。どの程度自然破壊が起きているのか？水田が失われているのか？など良くわからない。水田の持続可能性に絞った方が良かったのでは。広げるにしても農業従事者不足の起因となる少子化の伴う課題抽出程度か。
- 「水田の不活用→農家が儲からない→需要を作る」という論理構成ですが、いくらだったら農家が持続的にコメをつくっていけるのか。価格が出てこないと具体性に欠けませんか。もう一つ、日本の農業活性化の処方箋は出尽くしています。問題はそれが実践できていないことです。なぜ実践できていないのか。その深掘りが必要だと思いました。
- 誤字（人口物→人工物）や文字化け（「たんぼのめぐみ」で使われていた漢字）に注意されたい。
- 稲作という重要でありつつも、遠くのこのように感じられるテーマについて知見を深められたため。
- 米問題に関して真剣に考える良いきっかけをいただきました。
- よく頑張って発表にこぎつけたと思います。政策提言には理解できる部分もありました。①一方で、これまでの日本の農業政策、経緯、データなどの分析もあるともっと良かったのかなと思います。②水田と里山の保全のために、需要を掘り起こすという提言の方向は納得できます。一方で、「自然共生国家」というタイトルからすれば、「里山」だけでは少し不足感を感じます。折角なので、里山→町→海辺→海という感じで、里山を起点に私たちの生活と自然がどう共存するのか？するべきか？という部分も研究してみると良いかもしれません。→また、里山へのアクセス・インフラ整備も含めて、「新国土創生」として、国の長期的な事業として位置づけ、研究を発表してみてもどうでしょうか？→農業のみならず、林業、漁業の研修を是非されてみてください。
- 熱心に活動していること
- 自然共生そのものを語るべき
- 政策もしっかりしていたし、質問も興味深かったです
- 問題意識が明確でわかりやすくメリハリのきいたプレゼンでした。若い方が日本の将来を真剣に考えていることに感動致しました
- 多様な要因があり、提示されたプラン以外にもあるので、発表に至るまでの思考プロセスに興味をもった
- 中山間部の水田の対策が考えられて良かったです・コンソーシアムによる新しい直販方法は良いなと思いました
- 結局朝から晩まで働いて500万なんだな～
- 「自然共生国家」「列島水田再生構想」に共感しました
- 時間が短い。もっと調査、勉強したことがあると思うので、もう少しそれらを話していただけるともっと理解が深まると思います
- 農業の現状がよくわかりました
- 課題に対応する政策の完成度が高く、大変勉強になりました
- もう少し深掘った内容が聞きたかった。

フォーラムについて

5. 「第一部 政策発表」の満足度

その理由 ③ ※一部抜粋

- ・ ビジョンがしっかりしている
- ・ これだけ日本の未来を真剣に考えているのが分かったことです。
- ・ 今の農業について自分たちの提言を自分たちの言葉で話していたため
- ・ 充実した議論がなされた政策であり、その政策の提言には、非常に説明力があつたため。
- ・ 統一テーマとして苦労された過程が理解できますし、仕上りの内容も素晴らしかったです。
- ・ とてもわかり易い発表と主張でした
- ・ 的を絞った発表でとても良かったと思いました。加えて、「実装」まで出来ると理想だと感じたが、共同研究の建て付け的に難しいなとも感じました。
- ・ 塾生らしい大局的な視点での提言が盛り込まれていました
- ・ 構想は良いと思ったが、もう少し「ひと」「つなぐ」に関わる面での言及が欲しかった。
- ・ 塾生の方がどのような活動をしているのか垣間見ることができ、テーマに沿った考えを知ることができたから。
- ・ 塾生の皆さんが何に取り組んできたのかよく分かったため。農業政策という市井にも色々な意見が飛び交う分野で、ここまで提言されたのが素晴らしいと思いました。今日の主題は政策提言でしたが、実際に国内で多くのフィールドワークをされたということで、どのような現場を訪れて塾生の皆さんがどのようなことを学んだかについても、聞いてみたいと思いました。
- ・ 政策発表、大変興味深く拝聴いたしました。発表者の皆様の情熱が伝わり、有意義な議論の機会となりました。しかし、日本の農業は土地不足、高齢化、低収益構造などの課題を抱えており、持続可能なモデルの構築が不可欠です。特に、政府補助金による消費促進策は財政負担が大きく、長期的な依存は困難なため、市場原理を活かした解決策が求められます。また、米の活用は主食だけに限らず、日本酒、餅、米菓、米粉製品 などの高付加価値市場に着目することで、より収益性の高い展開が可能です。市場の多様化を進め、日本米の競争力を強化することが重要だと考えます。さらに、農村観光（アグリツーリズム）の推進は、都市部のオーバーツーリズムを緩和しつつ、日本全体の観光競争力を維持し、地域経済の活性化にもつながります。都市部への集中を分散させ、新たな旅行体験を提供することは、農村振興の観点からも有益です。今回の政策発表は意義深いものでしたが、今後は財政の持続可能性、農業競争力、観光資源の活用を含め、多角的な視点での議論が進むことを期待しております。
- ・ テーマ設定がよく、塾生の思いもこもっていた。
- ・ 皆さんの一生懸命な感じはとても伝わってきたのですが、少し分かりにくいと感じる時がありました
- ・ もっともっと深めていきたい内容でした！
- ・ 課題把握がお見事でした。
- ・ 課題仮説、解決策仮説がしっかりと設定、検証されている点。
- ・ 熱心に日本の将来を一緒に考える機会になったので
- ・ 塾生の皆様がどのように活動して政策を立てているのかが良くわかりました。
- ・ とてもよく議論されたのが伝わってくる発表で、感激しました。一方で、もう少し考慮して頂ける点を、辛辣ではありますが、以下、書かせて頂きます。本質的な課題をどこに設定したのが、今回の説明ではわかりにくい。自分の理解では、米の需要低下を課題に設置され、その解決策として、輸出と直販を挙げられたと認識した。まず需要低下に対する話であれば、現状の価格高騰との問題の切り分けを説明しなければ、聞いている側の納得が得られにくい。また、解決策として、なぜ輸出と直販に至ったのか、他の選択はなかったのか、ロジックが弱い。数的な裏付けも示されていない。また、最終消費者への訴求にも疑問が残る。具体的なマーケット、規模が見えない。里山を大事にしたいという志は、非常に共感します。また、輸出は、食料安全保障の観点でも強力なバッファとなるため、賛成です。さらに直販は、農家の収入、取り分を増す施策でありJAから独り立ちし、持続性のある農家への転換に期待がもてます。目指される方向は非常に共感しますので、課題設定までの丁寧な議論の跡と、解決策に至るロジックがわかりやすいと、より伝わると思います。
- ・ 彼らにとって専門分野外の事について一生懸命考えた雰囲気が感じ取れたので
- ・ 少し無理やりな感じがしました。
- ・ 自らの問題意識と同じであり、具体的な提案に共感できた
- ・ 将来の展望が垣間見えたから。
- ・ 一つの政策に対して、考慮しなければいけないことが非常に多い中で、漏れなく考えが尽くされていたから。
- ・ 提言の内容が簡潔で分かりやすく、共感できた。
- ・ 大きなテーマにもかかわらず、短時間で要点をまとめて端的に発表ができていた
- ・ 100年の計であれば、グローバルの視点、他国の取組みを踏まえた日本国内向けの政策のポジショニングの納得性があれば、少子高齢化の世代を越えて他民族共生にも耐え得る内容が付加されると感じたから。また、里山、稲作の歴史・文化を政策の軸にするならば、観光・市民参加・食文化の発信といった点も、政策の枠組みに入れた未来予想図（全体像）も描いてみて良いのではないかと考えた。

フォーラムについて

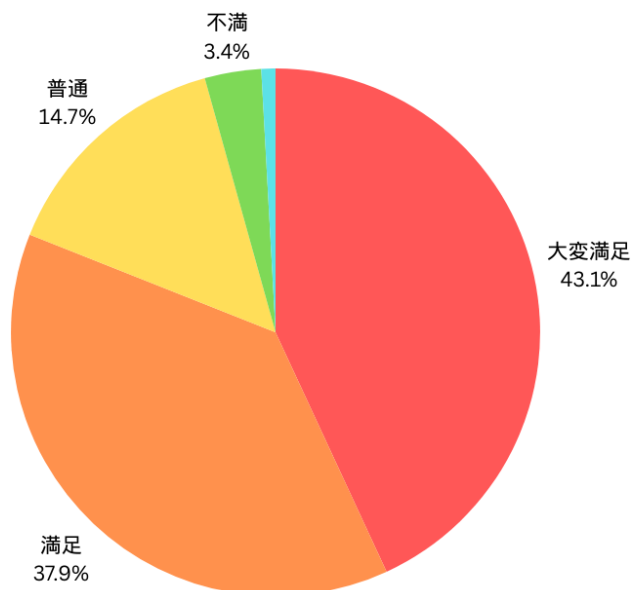
5. 「第一部 政策発表」の満足度

その理由 ④ ※一部抜粋

- これほど高度な発表は初めて見させていただきました。日本の水田稲作に焦点を当て現状の課題を洗い出し、その解決に向けた革新的な取り組みについて学ぶ貴重な機会でした。直販改革は現状を打破する為に構想された、たんぼのめぐみで米を売るだけではなく、米を通じて「価値」を売るというところまで展開されておりとても興味深いと感じました。また、プラットフォームに参加する生産者は環境に配慮した農家を限定し地産地消を推進する為、距離に応じた送料設定、また定期購入のサブスクリプション導入など現実的な工夫も凝らされている点にも関心致しました。輸出と直販という二つの改革によって水田稲作を単なる一次産業としてではなく文化、環境、経済を包摂した産業へと昇華させようとする取り組みは、日本農業の未来に大きな希望を与えるものでした。
- 実際の農業者の話をもっと聴ければ良かった。未来の水田の為に、農業者に、何をしてほしいか、何をしないと、上手く行かないのか、周りから、するだけではなく、共同的なものが、もっと知りたかった感じですかね。
- 里山とか農業に関する若い方の考え方がわかってよかった。真剣に課題に取り組んでいる姿が素敵でした。
- 稲作の産業化に焦点を当てたこと
- 塾生の意気込みは大いに感じ将来に期待を持ったが内容はもう少しレベルを上げないと。
- 改めて農業の魅力を感じました
- みなさんの世代が声を上げた。これはとても意義深いと思います。これを形はどうあれ、日本の将来に結びつけてほしいと切に願います。
- 「自然共生国家」というテーマが良くて期待していましたが、もっと深掘りして欲しかったです。最初に気候変動や生物多様性など、ホットなキーワードで始まりましたが、キーワードに関する展開が不足していました（時間的制約があったと思います）。農業の生産性向上を目的とした（6次）産業化と海外展開というアジェンダは、多くの場で議論されていて斬新性が乏しかったです。生産性向上施策としてIoTやAIを活用したスマート農場がありますが、課題が山積しているようです。山間部の農地は集約化が困難であることも課題の一つと考えます。財務力のある企業が農業に参入するケースも見受けられますが、後継者不足の個人農家の収益性を向上させるという視点が本筋のような気がします。海外輸出については、食料の安全保障の観点から逆行しています。昨今の米不足にあるように、国内でも米が買えない反面、米国では日本米が安く販売されています。まずは食料自給率を高めることが最優先かと思うのですが。減反政策の延長ともいえる「転作促進予算」を発表された施策の財源として活用するという考えは良かったです。農業の専門家でもないのに辛口なコメントになりましたが、日本の未来を担う45期生の皆さんの今後の活躍を祈念します。
- もう少し内容を掘り下げてほしかった。
- 2050年への政策提言に感動しました。また、私もお仕事にて組織目標などを発表する場も多々あるので、発表の仕方など参考になるところが多く大変勉強になりました。
- 私は、田んぼに囲まれた集落で育ちました。自分の家で食べるお米は自分たちで育てるというのが当たり前のような集落で育ちましたが、手間がかかることから、私の家は辞めました。次々に、高齢化で、稲作をする人は減りました。ですが、その土地を牛用のわらにする人が増えました。それなら、自分で管理しなくても、牛を飼っている人が管理してくれて、お金までもらえるからです。最初は、土地活用や高齢者の収入源としてとても素晴らしいと思ったけど、稲作をしていた時の、みんなで協力することが好きだった私は、すこし寂しいです。稲作が減るということを気にしていませんでしたが、お話を聞いて農業が減るというのは人の楽しみ、やりがい、生きがい、そして交流が減ると思いました。もし稲作がちゃんとした収入になっていけば、私の集落は稲作を続けたと思います。今は、生まれ育った集落を離れて大学生活を送っているので、お話を聞きながら地元のことを思い出して、とても楽しかったです！！
- 農業の里山に取り上げてくれた
- 政経塾における共同研究の意義と成果に納得できてよかったです。コメの輸出と販路拡大を目的とした政策を検討するという意図と方針も悪くないと思います。ただ、自然との共生というテーマに対してあまり踏み込んだ内容ではなかった気がします。
- 全員一致団結頑張っていたように感じた

フォーラムについて

6. 「第二部 パネルディスカッション」の満足度



第二部のパネルディスカッションは、各登壇者の専門性を活かした多角的な議論が高く評価された。政治家、生産者、研究者といった多様な立場からの率直な意見により、農業と自然共生の関係や政策の現実性についての理解が深まったという声が多く、登壇者の人選や構成、発言の説得力に対する肯定的な意見が多数寄せられた。

一方で、「すべての質問に対する多面的な回答があれば、さらに理解が深まった」との意見や、「塾生の理解が浅く感じられた」という指摘も見られた。

全体としては、農業の未来に対する問題意識と熱意を感じるとともに、政策を実践に移すための当事者意識と覚悟の重要性が強調される内容であった。

その理由 ① ※一部抜粋

- ・ お米の需要創造において、国内消費を増やすよりも、海外への輸出を増やすことがポテンシャルがあるというのは納得感がありました。
- ・ ゲストの各立場での率直な考えや想いがよかった。
- ・ 多様なパネリストの選択が良かった。
- ・ 蔦屋さんの、「自然共生国家を考える上で、農業は自然破壊の側面も・・・」「縄文時代と弥生時代」というお話しを、大変興味深く拝聴しました。気候変動の影響もあり、蔦屋さんがおっしゃるように「自然の脅威をわかりながら、どう付き合っていくのか」は課題だなと思いました。各地の食文化のベースは、その土地のものなので、嗜好品として。という輸出に関する慎重なご意見の立場でのお話しにも共感しました。流域自給圏づくりのお話しも、大変興味深かったです。鈴木さんの、「米しか可能性がない」というお言葉、藤井一至さんの『大地の五億年』を読み、日本の土壌の特性から考えたときにもおっしゃる通りだと思いました。
- ・ 様々な立場の方が登壇したことで話が広がったことが良かったと思いました。
- ・ 知見を広める事が出来た。地方の活性化、並びに日本国のために何が必要かを改めて知る機会となった
- ・ タイムリーだった
- ・ 視点の違いが勉強になりました。ありがとうございました！
- ・ 幅広いパネラーのご意見が聞けて良かったです。
- ・ 専門家の意見を聞いて、改めて課題が浮かび上がってきた
- ・ 鈴木議員が消費者、需要、ニーズを踏まえた上での供給に関するポイントを示してくれた事により、フォーラム全体に対する腹落ち感が出た。
- ・ 農家が食べていけないのは、鈴木さんがいうように農産物の価格が安いこと。その割に生産コストが高いからです。結局は消費者にお願いするしかないのは、結論として安直すぎる。輸出も販売会社も重要ですが、それを実現する実践者に皆さんになるか。もしくは消費者の反対を押し切って手厚い所得保障を行う政治家になるか。その覚悟がないと現状は何もかわりません。
- ・ 現場の意見が参考になった
- ・ 多様な方からリアルなお話しが聞けてよかった
- ・ それほど事前勉強もせずにやってきてしまいましたが政治的観点、現場的観点、塾生の観点からいろんな話がきけて農業について改めて真剣に考える時間になりました。
- ・ 鈴木先生や農業実践者の話はわかりやすかった
- ・ 政治家、生産者などの率直な意見も聞くことができ大変参考になりました。
- ・ 現場で働いている人の言葉を聞くことができたため
- ・ 衆議院委員の方のお話が、大変貴重で、分かりやすかったから。
- ・ 多様な立場から意見が聞け良かったです。
- ・ それぞれのパネリストの方の立場からの意見が聞けてよかった。
- ・ 政策面の立場、現場の立場から話が聞けて学びになりました。

フォーラムについて

6. 「第二部 パネルディスカッション」の満足度

その理由 ② ※一部抜粋

- それぞれの視点やお立場でのコメントが、面白かった
- 各パネリストの答えが聞いて有意義だったが、できれば、すべての質問に対し、複数以上の立場から回答をもらえると、一層内容が深まったかなという印象を受けました。
- それぞれの立場から自然共生や米に対する多角的な考えを聞くことができ、興味深かったから。
- 農業政策については関心があるものの、主にネットでしか情報を得られないため、生産者、消費者、政治家、専門家というバランスの中で意見を聞いたのが興味深かったため。また政治家の方の意見を聞ける機会はなかなかないため。
- 蔦谷さんと若い代議士は、ある程度の事が解っていらしゃる。また、現場の農業家は当然解っていらしゃる。しかし、塾生がわかっていない。要するに、政治家希望者が、極めて口先だけで生きようとしている志向性の表れです。松下幸之助の意思が、どんどん消えている事を、大改革する必要があると思います。
- パネルディスカッションは非常に充実していました。元政府関係者や業界の実務経験者が登壇し、多角的な視点からの議論が展開されていた点が特に印象的でした。登壇者の方々は、実務経験に基づく具体的な助言を提供しつつ、塾生たちへの前向きなメッセージも発信され、その姿勢に深く共感しました。特に、「社会は変えるものではなく、変わっていくもの」という考え方や、政治家は理想だけでなく現実的視点も持つべきという指摘、さらに塾生自身が農業を体験し、提案を再考する重要性を説いたコメントは示唆に富んでいました。私自身も同じ立場であれば、同様の助言を伝えたかもしれません。登壇者の貴重なご意見に感謝するとともに、今後もこうした実践的な議論が続くことを期待しています。
- 松下政経塾ならではの人选をされており、質の高いお話を聞くことができた。
- 政治家の意見も実体験としてうかがえて聞きやすかったまた、農家さんの思いや現状が聞けて大変勉強になりました
- いろいろな角度からの話があり、勉強になりました！
- 準備されよく考え抜かれた内容と感じました。パネルディスカッションの進め方は勉強になりました。
- 現場の方から、稲作には農業機械の操作技術取得が最重要ポイントであるが、その環境が整備されていない。これが新規農業参入の障害の一つになっているという指摘は、稲作生産システムにおける抜け漏れ要素だと認識させられた点。
- 多様な意見が聞けたので
- 様々な視点からの登壇者のご意見をうかがうことができてとても有意義でした。
- 初めて聞く事柄もあり大変ためになりました。
- 登壇者のお話がとてもよかった
- 蔦谷様のお話の中で「環境保全型農業に緩く取り組む」というご提案がありましたが、それは従来の硬直的な制度や考え方に偏らず持続可能性と地域性に注目し実践をすることの重要性について語られている場面がとても印象的でした。自然破壊の進行や気候変動や大地震など自然の脅威に対して人間はとても無力であるということをしっかりと認識しつつ、どのように共生していくのかといった舵取りの難しさを実感しました。
- 難しいテーマだったが、上手く構成されていて、それぞれの発言が大変参考になった。
- 農業に携わる方の生の声が聞けたから。
- 専門家や政治家の方のお話、そして農業に従事している方のお話で考えを深めることができたから。
- 第一部の内容を踏まえており、議論がかみ合っていた。
- それぞれの分野の方々の専門性ある話が聞けたため。
- 2名の有識者の発言はわかり易く説得力があった
- これからだと思いますが、出演者皆さんの深掘が出来ればと思いました。
- 聞いていないので。
- 鈴木副大臣、蔦谷さんからは多く学べたから。
- 鈴木さんのご発言を興味深く拝聴しました。組織防衛の殻を破って現状を直視。今、日本復権に向け力をひとつにする最後のチャンスかもしれません。
- 内容はよかったと思うが、少し時間が長かった。
- 第一部で終わらず、さらに発展させるパネルディスカッションがあることで深まりよかったと思います。
- 「食育は大人にすることも重要」というのが刺さりました。本当にそう思います。実家にいる頃は、学校だと栄養価のある給食食べて、家でも親が健康に考慮したご飯を作ってくれていました。一人暮らしになったいま、栄養価なんて若いから何とかなる！！という謎の根拠のもと野菜を取らない、ご飯を抜く等の不健康な生活を送っています。このまま、いつか親になってしまうと栄養価のことなんて分からなくて子どもにも不健康な食生活を送らせてしまうと思いました。
- すみません、時間がなくて途中で退室してしまいました。

フォーラムについて

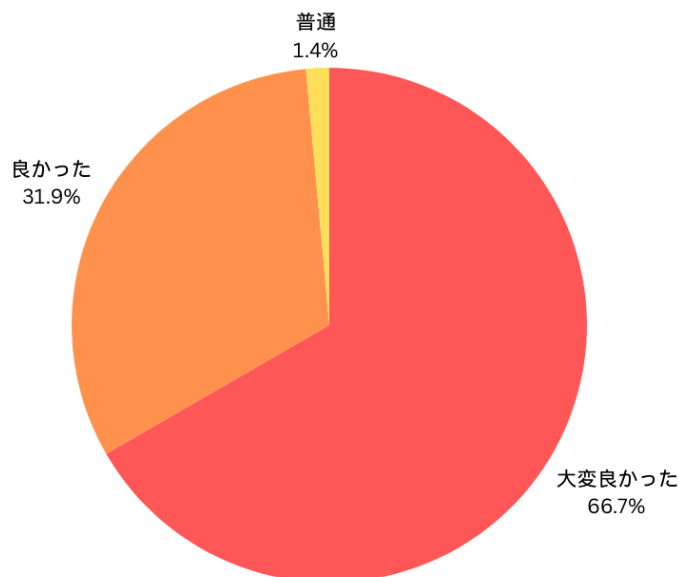
6. 「第二部 パネルディスカッション」の満足度

その理由 ③ ※一部抜粋

- ・ 湘南地区に閉じた議論が中心になりがちで、国内に共通する本質的な課題や解決策の方向性もクロージングで示していただけたら、尚よいと感じたから。
- ・ すみません、不参加でした
- ・ 現場を熟知している方の話は勉強になります。感謝しかない。
- ・ 知らなかったことや知っていてもそれをさらに深く知ることができた
- ・ プロの人からの話と農家、一般の目線からの話であり、専門性が違う偏りがない部分が良かったです
- ・ 蔦谷さんの都市の農村化、消費者の生産者化は今後の地域の在り方として非常に有益だと思う。個人がそれぞれ自分の田んぼ（≒莊園）を持てるのが理想
- ・ 蔦谷氏と鈴木氏の話が大変面白かった
- ・ より専門的で現実味のある話を聞いた
- ・ それぞれバランスのよい人選で大変刺激を受けました
- ・ 米の農家中心のお話でしたが、田んぼと畑がとても大切だと考えることができた
- ・ 農業をやる立場（政府、民間、料理人、農家）の切実な想いと実態を知ることができたから。
- ・ 様々な立場の意見が聞け勉強になりました
- ・ 鈴木憲和さんの話が非常にわかりやすかった
- ・ 農業の魅力の発信が必要であること。価格の正当性を伝える必要があることを学びました。
- ・ 蔦谷先生、鈴木議員の広井支店でのディスカッションも触発されました。今井さん、鈴木さんの現場の声を伺う事が出来、有意義でした。
- ・ 塾生以外の意見やコメントを聞けて、良かったです。
- ・ 登壇者がすばらしい
- ・ 実践者として、発言内容に重みがあった。第1、第2セッションとして分割したことも良かった。
- ・ 2部にしたのが飽きさせない良い方式・政治への提言だけでなく現場の方を招いて、コメンテーターにしたことは良い人選と思います。
- ・ 専門の方のわかりやすい説明と自分の経験を聞けて勉強になった。
- ・ パネリストの専門的な知見が大変勉強になりました。
- ・ コメの輸出については蔦谷氏の考えに共感しました。普段から炊飯器なしでは美味しいご飯が炊けません、海外の方々に食べてもらいたい場合、炊飯器の輸出も必要では？
- ・ 声が通ってはっきり聞こえて大変良かった
- ・ 大変面白いお話しでした。政策についてどう考えているかをもっと聞ければと思いました。
- ・ パネラーの方が多彩で視点が多様で勉強になりました。パネラーの方がそれぞれ議論をかみあわせて塾生の方のコーディネートもお上手でした
- ・ 気候変動による、作づけの銘柄の変化や新品種などこれまでの延長ではない活動が知りたいと思った
- ・ 自然共生のテーマで水田の歴史が聞けて良かった・国家百年の計ということで農業の戦略が重要だと感じました・政府目線、現場目線のお話が聞けて良かったです
- ・ 今井さんの現場の話が良かった
- ・ それぞれの立場から違う角度の話が聞けたから
- ・ いろんな知見を聞くことができて参考になりました
- ・ 勉強になりました

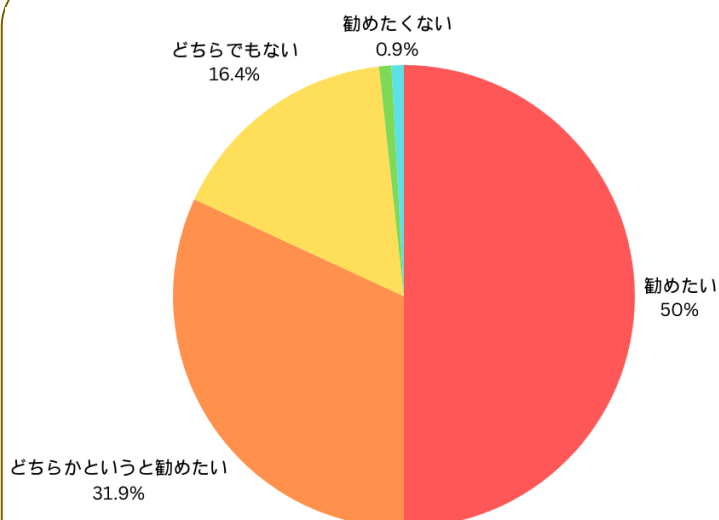
フォーラムについて

7. スタッフの対応の満足度



会場参加者限定で、スタッフ対応の満足度を質問したところ、**約99%が「大変良かった」または「良かった」と回答**した。「悪かった」「大変悪かった」と回答した参加者は一名もおらず、フォーラム運営にご尽力いただいた塾生および塾職員の皆様のご協力の賜物であることを、改めて実感する結果となった。

8. 今回のフォーラムを友人に勧めたいですか？



多くの参加者が、フォーラムを通じて**農業や自然共生、日本の将来について深く考える貴重な機会となったことを評価している**。塾生の熱意ある発表や社会課題への真摯な姿勢に感銘を受け、**「知識だけでなく、考えるきっかけになった」**との声が目立った。また、若い塾生の挑戦に期待する声や、**「多くの人に知ってほしい」「学生や起業家にも紹介したい」といった前向きな意見が多く寄せられた**

一方で、「テーマが壮大で人を選ぶ」「内容が期待と少し異なっていた」との指摘もあり、**テーマの伝え方や対象の明確化への工夫が今後の課題**といえる。

全体としては、松下政経塾の取り組みへの共感と、社会全体に議論を広げたいという期待が強く感じられた。

その理由 ① ※一部抜粋

- 単なる知識を得る機会ではなく、考える契機になる場として面白いと思いました。
- これからの日本を支える優秀な若手の研究発表を聞き、先輩社会人としてどのように若手を育成していくべきかを考えるきっかけとなる。一生懸命な人の発表は、こちらの気持ちを醸成する良い機会。
- 誰にとっても参考になる
- ここまで政治家の卵が考えられないのを知り合い 民主主義の練習の場寺中の作った公民館の活用と政治家と交流をしないといけない事を気づけるから
- 塾生の活動をもっと多くの方に知って欲しいです。
- みんなに一次産業への関心を持ってもらいたいから。
- 国や地方の大きな課題にどのように向き合えばよいのかという視座があった
- 子供と参加させて頂いたが、若い世代が社会課題に触れる良い機会であった。政治への興味、参加への礎になると考えた。望むべくなら、塾生の期間での発表であれば、国民うけの悪いトピックを取り扱って頂けたらより興味深いかと。まさに、それが政治判断と思えるので。

フォーラムについて

8. 今回のフォーラムを友人に勧めたいですか？

その理由 ② ※一部抜粋

- 若い人が現状を変えようと頑張っている姿は好感が持てました。でも会場から「どういう立場でそれを実現するか」の問いに、皆さんが「政治家」と言われたのにはがっかり。看板がないと何も出来ないのか。ぜひ実践する人になって欲しいと思います。
- 学びになると思ったので機会があれば是非知り合いもさそいたいです。
- 日本の抱える問題を共有して、地元の課題の解決に繋げていきたいと思いました。
- 多種多様な視点から意見や質問そして考えを多く聞くことができ、自分の考え方や知識がより深まったため
- 日本の若者の真剣度に希望を抱いてほしいです。
- 日本の農業の問題をもっと多くの人に知ってほしい。
- 社会を変える同志を増やすためにも、今回のような生活に直結する話は是非とも多くの方に聴いて欲しいと思った。
- 松下政経塾とはどういうところか、ということに関心を持たれる方には勧めたいです。
- 学びの場になるからです。
- 本フォーラムを通じて参加する意義を感じることができ勧めたいと感じたから。
- 今回のフォーラムは、日本の農業関係者を主な対象としており、その点は理解できます。発表者の皆様のご尽力に感謝申し上げます。提案された施策には興味深い要素が多くありましたが、国際的な視点や異業種の関心層にも響く内容が加わることで、さらに広がりのある議論が可能になるのではないかと感じました。例えば、オランダの高精度温室栽培、シンガポールの都市型農業、イタリアやフランスの農村観光など、他国の先進事例との比較を取り入れることで、新たな視点が生まれるかもしれません。そのため、現在の内容では私の友人や知人に勧めるのは少し難しいと感じましたが、今後さらなる議論が深まり、多様な視点が取り入れられることを期待しております。
- 松下政経塾にしかできない社会や国家課題への視点やアプローチ手法を持っているため
- 塾生の皆さんが考え抜かれたテーマに対して深く知ることができ自分なりに考えることができる機会になると感じたからです。
- 有意義な学びをライブで得られる。
- 日本の将来を一緒に考える機会を勧めたい
- お米や農家さんの問題は、みんな感じているところです。
- この空気感は知るべきと感じたから。
- 当該塾生の事を知っている人限定なら是非勧めたいですね。
- 今後、議論が深まっていくことが期待できる
- 松下政経塾に在籍されている方々による高度なご研究や実際に各地に赴き現場の声に耳を傾けるとされるなどの実践的な取り組みの成果を知ることができたとても貴重な機会だったと感じたからです。
- 国民全体で考えるべき内容だと思うから。
- 関心次第ではないか。
- 日本の未来を考える上でこのような場は非常に重要であるから。
- 若い人たちの真剣な取り組みを知ってほしい。
- テーマによって、関心がありそうな方には勧めたいと思います
- 課題のテーマが壮大なので、誰でもいいという感じで無かったので。だけど多くの方が関わっていくことは大切なことだと思います。
- 日本の長期ビジョンに取り組んでいること
- 具体的に松下政経塾の取り組み、塾生の姿を伝えられるから。
- もっと多くの人の目にとまり聞いてもらえるとよいと感じました。
- 私の周りは、学生起業家や卵、活動家が多くおり、農業に関するサービスや活動をしている学生がいます。その学生たちに紹介したいと思いました！！
- 自然との共生と里山というテーマに期待される内容とは異なっていた。
- 政経塾の取組みは、もっと広く発信してよいと感じているから。
- 塾生の活動を知ってほしいため
- フォーラムのテーマを身近に感じるができるところ
- 自分たちの自主性はとても大切なことだから
- 水田、米の消費を考える、いい機会でした
- 農と自然は国（人類）の基幹だから。
- 障害者の食の質を上げていく必要があるため
- 幅広い意見を聞くことができて大変参考になった
- 日本の未来を真剣に考えている人達がいることを知ってもらいたい
- お米について考えることの大切さを知りました

フォーラムについて

8. 今回のフォーラムを友人に勧めたいですか？

その理由 ③ ※一部抜粋

- ・ 政経塾の塾生の素晴らしい行動と卒塾性への期待を感じてほしいと思います
- ・ 「日本」を考えるきっかけになったため
- ・ 政治経済に興味ある学生は、一度松下政経塾に足を運び、自由に政治経済の話題をディスカッションできる居場所を体験してもらいたい。
- ・ 塾生の研修にとっても、松下政経塾のアピールとしても、意義深いと思う。
- ・ 自分の足りない頭で理解しようと、考える勉強になる。普段聞かない話も聞けるので…。
- ・ テーマが地味。関心がないだろうな～
- ・ 身近に興味を持つ人は少なそうですが、興味を持つ人には勧めたいと思いました
- ・ とても充実したプログラムでした。ありがとうございました！！
- ・ 課題を考えるきっかけになること
- ・ 行政、現場、理想、いろんな話が聞けて良かった

9. 本フォーラムに参加したことで、日本の里山や水田、コメに関する考え・心境の変化はございましたか？

本フォーラムを通じて、多くの参加者が日本の里山や水田、稲作文化の価値に改めて気づかされ、農業の現状や将来への危機感を抱いたとの声が多く寄せられた。中には、農業を支える人材不足や収益構造の課題、自然との共生のあり方、地域の絆の重要性に関心を示した参加者もいた。

一方で、制度や政策実行の遅れに対する疑問や、海外との比較を踏まえた視点も見られ、より広い議論や行動の必要性を訴える声もあった。また、参加を機に農業体験や地元支援への意欲が芽生えたという前向きな意見も目立ち、フォーラムが思考と行動の契機となったことがうかがえる。

全体を通じて、自然共生や農業政策への意識が高まったことが明確に表れていた。

実際の回答 ① ※一部抜粋

- ・ 改めて深刻な問題だと思った。
- ・ とても大事なテーマだと改めて認識致しました。
- ・ 海だけでなく、土も愛していきたいと改めて思えた。
- ・ 色々な学びがあった。
- ・ 変化はとくにありません。
- ・ 消費者か労働者かではなく、社会を存続させるためのひととして考えることを里山という概念は私たちに要請するという気づきが得られました。
- ・ これまで同様に強い関心を抱いている。具体的に構想・行動できる人材への支援をしていきたいと感じた。
- ・ 里山の重要性
- ・ さらに前向きになりました。私も常に考えてますが、若者の英智を結集する時期なのかも知れません。
- ・ 農家が最も課題に思っている草刈りを軽減すれば、高齢者生産農家としての寿命を延ばせるのではないか。一方水田としての機能を維持するための「水守り」の体制を維持する体制を考えなければと思いました。
- ・ 日本が便利により豊かになることは素晴らしいが米など農作物をつくる生産者があっての日本だということもう一度思い出せる日本にしていきたいと思った。
- ・ 里山は完全な人工物ではあるが、無条件で心休まる良いところ、それだけで価値があるところだと思う。ということ思い出せたので、今回は良かった。
- ・ はい。色々考えさせられました。
- ・ 日本の食・お米がテーマでしたので、とても関心がありました。
- ・ 食の多様性をどの程度受け入れるかについて考えさせられました。
- ・ お米を食べる人が減っている、という問題は、高校時代にもグループで授業の議論となりました。つまり、高度成長期からこの問題がずっとつみ残しにされていたことが理解できました。
- ・ 国民の多くがもう少し高い価格のお米を買うことが普通にな社会づくりが必要なのかもしれないと感じた

フォーラムについて

9. 本フォーラムに参加したことで、日本の里山や水田、コメに関する考え・心境の変化はございましたか？

実際の回答 ② ※一部抜粋

- ・ 里山や水田と言うより、農業、林業、漁業は国家における重要基盤であると認識している。課題はこれらを維持する後継者不足であると考え。一方、これら産業に対する需要潮流は持続的にある。例: 開店寿司、コンビニおにぎりなど。なので、成り手不足に伴う需要高は必然であり、当然マーケットプライスはあがり生産者の所得は上がると考えている。しかし、インフレや各種要因に伴う生産コスト等が改善されなければ実質収入は低くなる。そのためには、生産性の向上がキーと言える。このためには大規模経営によるスケールメリットを活かしたコスト削減、DX活用による生産性向上が望ましい。農業法人化の促進による民間活力の活用が望まれる。石丸氏では無いが、農業のエンタメ化もありかと。
- ・ 自然共生国家という百年の体系をさらに深めて欲しい
- ・ 農業に関しては将来的には関わってみたいと思ってる部分もあるので少し解像度が高まった気がします。ただ、やっぱり安いお米が食べたい自分もいます。
- ・ 農業、里山は歴史、宗教、民俗と密接不可分
- ・ 大いにありました。
- ・ 日常のなかで、意識的にお米をいただきたいと思いました。
- ・ 私の考えていた思いと共感することが多かったです。自信が持てました。
- ・ 日本の農業の危機的な状況を認識しました。お米の値段の問題は、難しさを感じます。お米だけに限らないですが、人間が食べていくのに必要な食料の値段が、どうあるべきかは、とても考えさせられます。
- ・ 米に感謝して積極的に米を食べたいと感じました。
- ・ 人口減少や高齢化など、地方の限界集落の現状は厳しいですが、本フォーラムで、米の農業の可能性や展望を示していただき、嬉しく思いました。
- ・ 農業を知ろうとする人にとってのきっかけづくりになる内容であるし、個人的にも新たな知見との出会いにもなりました。
- ・ 自然と共生する大切さを改めて感じました。
- ・ 如何に、未だ未だ、里山の本質が解られていないか？を実感できました。
- ・ 今回のフォーラムを通じて、日本の里山や水田、米についての理解が深まりました。都市部で生まれ育ったため、これまで農業や日本の自然環境に関心を持つ機会が少なく、知識も限られていました。しかし、オンラインで議論を聞くうちに、興味が湧き、自ら調べることでさらに理解を深めることができました。この経験を通じて、日本の農業や米の価値について考えるきっかけとなり、大変有意義だったと感じています。
- ・ 日本の里山の風景など、活きた形でこれから生まれて来る人にも残してあげたいとつくづく思いました
- ・ これからの日本の戦略構築を担う若者が日本の食文化の核である稲作文化を護るという強い意志を感じとれた点。
- ・ 里山イニシアティブを推進して欲しい
- ・ 私の親戚には農家が複数おります。お米も生産しています。現金収入の難しさゆえ、お米以外の作物も生産しています。今までの心境が更に深まったという感じです。
- ・ 質問でもあった通り、5年前ならという感は否めません。自身が考えていることが里山や食糧自給につながると更に感じました。
- ・ 地域の在り方を考えてく上での非常に参考になった
- ・ 日本はもともと自然共生してきました。実は海外もみなそうやって生きてきています。アンデスはアンデスの共生があります。「自然共生国家」の「実現」というより「再興」とか「復興」ではないでしょうか。
- ・ 心境の変化はありませんが、里山や水田のことを本気で考えていく時代となっていくことが必要だと感じました
- ・ 変わりました
- ・ 「海外のお米がまずい」という視点は良くないと思いました。海外のお米の需要は何かを考えさせられるフォーラムでした。里山の重要性は子育てや教育面にも関わることと思いました。人的にも良い循環ができる仕組みも考えていきたいと思いました。
- ・ 今まで里山の価値を考えたことはなかったがこのフォーラム
- ・ 里山の大切さと自然を守るため、消費を作るための根性、米作り、水田への知識が深まりました
- ・ 里山の自然を守っていくことが国民に発信してもらいたい
- ・ 水田や里山について、政治経済的な視点で見ることの面白さを感じました。
- ・ 日本の里山の喪失のスピードは加速しているという考えのため、政策実現のスピード感がもっと必要ではないかとの心境です。
- ・ 日本の食糧問題は切迫した課題だと感じる。農家の高齢化対策は喫緊の課題。「稼げない」構造をどう変えるのか、需要拡大だけでなく構造改革の提案が必要と思いました。

フォーラムについて

9. 本フォーラムに参加したことで、日本の里山や水田、コメに関する考え・心境の変化はございましたか？

実際の回答 ③ ※一部抜粋

- ・水田や米をただの食糧として見ていましたが、フォーラムに参加し、それは日本の文化的な基盤と深く関係していることを再確認しました。縄文や弥生時代時代の米文化のお話からは歴史的な重みを感じ私自身も一日本人として、他人事ではなく自分ごととして自然共生について考える必要があると強く感じました。
- ・地道ながら農業を体験する機会をプロデュースする大切さを感じた。
- ・日本は、瑞穂の国だということを、改めて認識した。
- ・国の根幹である農業、そして自然環境、それらを活用することで発展してきた今、それを保全しながら活用することの重要性を改めて感じる事ができた。
- ・より関心が深まった。
- ・漠然としか考えていなかったが、将来を考えるとしっかり現状を認識し、対策を立てることが大切だと実感しました。そして個人的には、もっとお米を食べようと思いました！
- ・当たり前にある水田ですが、意識して観るようになると思います。
- ・特に変化したことはありません。
- ・米農家の現状（減るべくして減っていること、年収を上げる必要性）が改めてよくわかった。
- ・稲作の産業化は、仕組みを整える一方で、最終的には個々の農家、農業法人の経営力をどう高めるかが課題だと改めて思いました
- ・あった。
- ・ここインドネシアにも日本の里山文化に通じる考え方があります。政府支援は数値が裏付ける成果を求めがちですが、農産物だけでなく、人材の交流など日本農業をパッケージにした輸出により、戦略的パートナーシップの包括的な構築に結びつける視点が大切だと思います。
- ・課題意識をもつことができた。
- ・改めて現在の水田の状況に危機感を覚えるとともに、希望も持ちました。
- ・ちゃんと帰省して、自分の集落の稲作の手伝いをしようと思いました！！農業がさかんな地域で育ったので、農業が高齢者の楽しみで交流の場となっています。でも、みんな高齢化で辞めて行きます。そして、高齢者の引きこもりや孤立が起きることがあります。私は、水が張ってある田んぼが大好きだし、泥まみれになりながら遊ばしてくれた思い出があります。近所の人々が作った野菜を、おすそ分けで玄関に置いてくれるのも好きでした。誰が置いたか分からないけど、育ち盛りの私たちのために沢山の野菜をいつも集落の人はくれました。集落の人みんなが、あしながさんでした。集落にある川には蛸が沢山いたのですが、今はいません。たったの10年で環境は大きく変わり、蛸もいなくなってしまうました。でも、自分のこどもにも同じ経験をさせて欲しいと思っています。蛸も見せたいし、田んぼでも遊ばせてあげたいし、玄関に置かれている野菜のやさしさにも触れて欲しいと思っています。そのためには、いまのうちから地元を大切にしていかなければ！！と思いました。
- ・農業の担い手をどう確保するかが喫緊の課題と感じた。自身も提言のプラットフォームが他に日本や各国であるのか勉強したい。
- ・これまでも、これからも、里山・水田が好きです。
- ・普段、生活していく中で、あまり考えてなかったことをフォーラム内で研究内容で伺うことが出来ました。様々な気づきを頂き、ありがとうございます。
- ・米は日本を代表する主食ですが、米の良さをどうやって世界にPRしていくかが大事だと思いました。
- ・里山は素晴らしい・・・しかし言うは易く行うは難し・・・
- ・提言「自然共生国家」に期待するので、その実現に向け、塾生の皆さんの活躍を期待します。
- ・人それぞれの考えがあること。私の考えとは違うことで、また新しい米の考えが生まれました。心境の変化はどちらかというと、私はありません。しかし、とても勉強になりました。
- ・今、米不足を実感する中で、今後供給量の安定性、安全保障の問題など、不安要素があるので輸出政策について考える優先度が高まらなかった
- ・米不足問題は「供給」に問題があると考えましたが「需要」に遠因があるとのことで改めて考えさせられました
- ・全て既知のことでした
- ・里山の維持がとっても難しい課題をどうやっていくか、もっと考えたい
- ・私の意見としては、今の段階では海外輸出よりも国民に米がゆきわたるようとにかく米の生産量を増やす政策が必要だと思います
- ・今度農業体験をしてみたい
- ・米食を通して日本の四季を知ることが必要なのかなと思います
- ・需要を喚起することの大切さを知り、自分自身も米を積極的に消費しようと考えました

フォーラムについて

10. その他、ご意見・ご要望・ご感想

参加者からは、提言の実効性や政策の具体性に対するさらなる深掘りを求める声が多く寄せられた。既存の政策や制度との関係性、縦割り行政の課題、食育や栄養、福祉など多分野との連携の必要性も指摘された。また、農業の現場に即した提案や、米価の問題、農家の収益性改善、若者の意識改革、輸出と国内需要のバランスなど、広範な視点からの意見が挙がった。

一方で、塾生の真摯な姿勢や熱意への称賛も多く、今後の発展や継続的な取り組みへの期待が寄せられていた。動画公開や提案の進捗共有、議論の場の継続など、フォーラムの発展的な運用への要望も見られた。全体として、政策の深化と社会への還元を期待する声が印象的であった。

実際の回答 ① ※一部抜粋

- 今後の展開を期待しています。
- 素晴らしい機会をありがとうございました^_^
- 現状の国の政策についても触れつつ、その問題点の改善すべき事項を挙げた上で、政策を提言していただきたい。新たな政策も大事ですが、既存の政策もチェックすべきだと思います。
- みんなおつかれさま〜♡続けてがんばってね\\¥¥¥('ω')、///
- 経済は大事ですが、その側面のみを重要視して政治について考えると、これまでのマイナーチェンジにしかなりえないと思います。生産者・消費者は分けないといけないカテゴリーなのか？（どなたかもおっしゃっていましたが）国土のグランドデザインを考えたときの、水田はどういう存在なのか？今後は、農水省さんだけでなく、国交省さん、文科省さんなども交えて、縦割りで役割を超え、横断的なご政策提言をしてくださることを期待しています。参加させてくださり、まことにありがとうございました。
- 特になし
- 塾生の真摯な姿勢に感動しました。
- 実家が米農家でしたが、1990年代に経営が悪化し、畜産業(肉牛)に転換していました。農機の購入や修理など多額の費用がかかり、多額借金を背負っていたため、米づくりの経費について農家の負担を減らせるような政策提言をお願いしたいです。
- 農業法人構成において、農業関係者以外も構成員となることができそうですが、総議決権の2分の1未満までと定められている条件緩和を期待したい。生産者視点の経営方針になりがちな構成であり、バイアスのかかる状況は会社経営としてのガバナンスが効きづらいと考える。
- 本日は誠にありがとうございました。塾生の皆様この度は大変お疲れ様でした。僭越ながら皆様の素晴らしい未来に期待したいと思います！
- 例えば、災害ボランティアでの経験を通して得た思いや、途中過程で知りえたアイヌ文化など先住民権への影響などを聞きたかったです。
- フォーラムのリマインドのメール、また、オンラインとリアルハイブリッドでの運営など、丁寧なご対応に感謝いたします。
- （直販の拡大に伴う）JAの役割や課題についても是非研究してほしい。
- 協賛いただいた方々からのメッセージ、とても良かったです。
- 質問で、主な原因で異常気象と私は捉えましたが、どう解決するつもりですか？そして、後継者問題についてどう考えますか？質問は以上です。貴重な時間をありがとうございました。
- 政治家を志す人が多いと思いますが、これまでの研修を●して、松下塾主の話を今後活かしていくのか？
- お若い皆さんには、もっと真新しい発想で取り組んでいただきたいです。子育て世代へのお米商品券配布といった、これまでのやり方を踏襲することはそろそろやめてはいかがでしょうか？若いキラキラしたエネルギー（理想）を生かしつつ、議論を深める経験をもっと！
- 地球環境、世界と日本の現状とホモサピエンスの全史から自然共生を位置付けること、水田稲作の産業化は小さい部分に飛びすぎ。環境重視とは？これか生物。回答ください。
- 昭和の後半に千葉県の農村に調査に行った際、農家の方から減反政策への達成感をうかがったことが忘れられません。農水省と逆のことをする方がもうかるという鈴木さんのお話が重要なポイントと感じました。
- 今日はとても勉強になりました。ありがとうございました。
- 食べものしっかり作りましょう
- 自然破壊について考え方をもう少し聞きたかったです（ゴルフ場建設、ソーラーパネルの設置など）
- 福祉と農業を結ぶ取り組みにもつながってほしいです
- すばらしいフォーラムなのでもっと多くの人々に来て欲しいですね
- 学校給食において、和食の給食をもっと出してほしい。ごはんには牛乳は合わない etc.食育をもっと！！

フォーラムについて

10. その他、ご意見・ご要望・ご感想

実際の回答 ② ※一部抜粋

- 本フォーラムの発表資料が公開されることで、より多くの方が議論に参加しやすくなり、有意義な議論の発展につながるのではないかと考えます。特に、塾生の皆様が提案の実現性を信じ、さらなる議論を深めたいと考えている場合、その内容をオンラインなどで共有できる仕組みがあると、関心を持つ方々とより広く知見を交換できるのではないのでしょうか。また、提案の収益予測やコスト試算、前提条件などの詳細な計算は、限られた発表時間内で十分に精査することが難しいため、公開されることでより適切な検証が可能になると考えます。今後、透明性の確保と建設的な議論がさらに促進されることを期待しております。
- 塾生の「美しい日本」にあった、目に見える美しさ、目に見えない美しさ、にもっと着眼を置いてほしいなと思いました。いかに列島水田再生構想が実現したとしても、これがないと自然共生とはいえないと考えるからです。今後、政策分野に分かれ専門的になっていったり、経営者的手法が政策の特徴として求められたりしたとしても、実践でその分野のトップの方と対峙したときに、付け焼刃として負けてしまいます。塾生、塾員は、新しい人間観や素直な心を理解し、それを自ら体現し、世の中に貢献しようと努力し続ける人間であるべきだと、自省を込めて考えています。今後ともよろしくお願いいたします。
- 素敵な会に参加させていただき、ありがとうございました
- 特になし
- 薦谷さんのお話は、専門的な部分も含め、大変勉強になりました。鈴木憲和さんのお話の中の、①「食料を不安なく国民に提供していくことが政府の一番」②「今年の値段でこの後も買ってもらえるのなら、農家はやっていける」がショックでした。①国政に携わっていてそれだけご理解があるのにお米に関しては進まない現実②農家さんには素敵な話ですが、年金が少ない方たちにとっては厳しい現実今井さんの現場の話はとても説得力がありました。鈴木由佳さんのお話からは愛を感じました。塾生の皆様からは熱い想いを感じました。政策が実現できる社会が来るといいなと節に願います。私もできることをしていきます。本日は、とても素敵なフォーラムに参加させていただき、ありがとうございました。塾生の皆様、お疲れさまでした。大変おこがましい言い方で恐縮ですが、今後も頑張ってください。
- 良い機会をありがとうございました。
- 個性の強い6人が一年かけて纏め上げる事自体にも大きな意味があったと思いました。よく出来たと思います。
- 質疑応答では他の聴講者の方から出た疑問からは、また異なった視点から自然共生について考えることができました。もう少し時間に余裕があれば更に興味深い議論になったと感じました。
- 動画を公開していただきたい。
- 別の課題での、取り組みを期待します。
- 仮に今回のみなさんの提言が実現したら、現在のコメ価格の高騰やトランプ関税には、どんな影響が出るのか、シミュレーションをしてみると面白いのではないのでしょうか。
- 志の高い若者の今後にエールを送ります
- きれいな発表だと思いました。時間が足りなくてが要因だと思いますが。
- 自然資本や新国富指標（人工資本（一般に言う資本）、自然資本、人的資本を統合的に測るもの）なども、難しいが検討の余地があったりするのかと感じた。
- アンケートの数値評価は1（低評価）〜5（高評価）が普通だと思いますので、間違える方がいらっしゃるかもしれませんね。
- 大したことではないですが、気になったので一言。畳の原料はイグサで、イネとは異なる植物です。
- 政策提言のお話を聞ける機会をいただき、ありがとうございました。
- お疲れ様でした。皆さん大変頑張ってくださいました
- さらに飛躍を期待しております。素晴らしい機会をありがとうございました。
- いつもご活躍楽しみにしております。このようなイベントの機会がありましたら定期的に参加したいと思います
- 里地里山里川とまだいろいろなつながりがあります。山下忽一さんの「身土不二」ですね。
- 輸出を増やすことより日本国内でなぜ米が売れないのか、食べる人が少なくなっているのかを至急に考える必要があると思います。米を食べると体にどうよくなるのかを若い人たちに伝えること、農家になってみたいという若い人たちの意識改革が必要です。フランス人はワインとパンと一緒に食す日本人は日本酒とお米と一緒にあまり食さないように思う。女性の方はダイエットにも関係しているのかも
- 本日はありがとうございました。
- 今回の政策提言をぜひ実現させてください
- 列島水田再生構想を25年かけて具現化するために、3年後、5年後にどのように実現していくのかと、実績を松下政経塾のHPなどで情報提供していただけると良いと思いました。
- 今回のテーマに関するヒアリングやフィールドワークはどこで行ったのかが気になります。